

アイランドシティに「新こども病院」開院

- 西日本一の病院
・子どもの高度専門医療施設として、
日本のトップレベル
・九州一円・西日本各地から患者受け入れ
- 築34年経過
・老朽化・狭あい化
- 病院機能は25年程で更新が必要
・患者への対応と同時に機能更新するには、
移転による建替え
- 高度化医療への早急な対応
・安全な医療にも対応

新こども病院
敷地は2倍 面積は1.7倍



唐人町にあった
旧こども病院 耐震未対応



今林ひであき

市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



○新こども病院の特色は、これまで培ってきた小児医療・周産期医療のさらなる充実。

○「集中治療室」「や」「周産期医療病床」を中心にベッドの増床。

○「脳神経外科」「皮膚科」「小児歯科」を新設。

	旧病院	新病院
ベット数	190床	233床
小児医療の充実		
集中治療室	8床	8床
重症治療室	一床	25床
一般・救急等	159床	146床
周産期の充実		
集中治療室	9床	12床
回復治療室	10床	24床
産科病床	4床	18床
手術室	3室	7室
駐車場	105台	450台

福岡市の感染症対策は

○福岡市議会 H26 9 月委員会での質問（要約）

問 仮に、福岡市でエボラ出血熱が発生した場合の対応は

答 エボラ出血熱などの I 類感染症は、福岡東医療センター（古賀市）での対応となる。
なお、機能的には、市民病院にある感染症 II 類ベットでも対応は可能

○旧こども病院に併設した感染症センターは、閉鎖。（子どもは感染症に弱く）
今後は市民病院に移転対応

屋上にヘリポート



市立病院は市民のために

新こども病院のソファベット



旧こども病院の狭い集中治療室



○公的な役割を果たす

市立病院が必要

・市民が公的に必要とする病院は、普通病院でなく、「こども病院」「高度先進・救急救命」です。

○吉塚にある市民病院を
アイランドシティに
集約して効果的に

赤字がスケールメリットで減少

○高度先進医療の推進

・市の医療特区制度では、外国の高度医療の輸入も視野に、拠点病院として、アイランドシティを中心に市立病院・九大病院などと連携。

・例えば、脳卒中は早期治療で社会復帰が大幅にアップ